

公立中高一貫校
レポート #15

東京都立南多摩中等教育学校

[東京都八王子市]

充実の英語教育と課外活動。 世界への発信を合言葉に、 イノベティブな文武両道を目指す!

南多摩中等教育学校(以下、南多摩)は1908年、府立第四高等女学校として開校した都立南多摩高校を母体に2010年開校。難関国立大への合格実績を積み上げるだけでなく、その先を見据えた教育へと着実に邁進していた…

取材・文/鈴木隆祐 写真/松沢雅彦
デザイン/タケウチフミヒロ (landfish)

南多摩中等教育学校は都立では唯一、WWL コンソーシアム構築事業の拠点校になっている。なんだかプロレスの団体名のようなが、WWLとはワールド・ワイド・ラーニングの略称。相変わらず教育関連は横文字の濫発で理解しづらいが、いわゆる Society 5.0 に向けたプロジェクトの一つ

だ。世界で活躍できるイノベティブなグローバル人材を育成するため、これまでも2014年からスーパーグローバルハイスクール(SGH)事業があったのだが、その取組の実績も考慮。高校が国内外の大学や企業、国際機関らとも協働し、高校生国際会議の開催も目標に、いっそう高度な学びを生徒に提供できる仕組み(ALネットワーク)の形成を目指そうという。

その支援に1拠点あたり1000万円程度と、決して安くはない資金も出る。採択には、「グローバルな社会課題研究としてテーマを設定すること」「海外の連携校などへの短期・長期留学などをカリキュラムの中に体系的に位置づけ、対象となる

基本データ

沿革
1891年：横川椋子が前身となる私立八王子女学校を設立。
1908年：東京府立第四高等女学校として開校。
1948年：東京都立第四女子高等学校となり、翌年には男女共学化。
1950年：東京都立南多摩高等学校と改称。
2010年：中等教育学校を設立。

校長 永森比人美
所在地 東京都八王子市明神町4-20-1
交通 JR中央線八王子駅から徒歩12分
京王線京王八王子駅より徒歩3分
出身著名人 曾我町子、逸見智彦、涼花リサ、浅野哲、安藤なつ…etc.



永森校長の辞書におそらく「前例がない」はなからう。それくらい意欲的に国内外の教育機関と掛け合い、ユニークなチャレンジを続ける。視察も来る者は拒まずで受け容れるが、その交流の中で「新たな試みのヒントも得ている」と語る

生徒が必ず経験するようにすること」といった、9つの要件をクリアする必要がある。

公募の中から選ばれた拠点校は全国で10校、南多摩の他は以下の顔ぶれとなる。東から順に筑波大学附属坂戸、渋谷教育学園渋谷、金沢大人間社会学域学校教育学類附属、静岡県立三島北、立命館宇治、大阪府北野、神戸市立葺合、関西学院高等部、広島県立広島国泰寺。いずれも高校で、一貫校という意味なら各私学も数えられなくても、このうち中等教育学校も南多摩だけだ。19年度から原則3年間で、3年目の評価に応じて延長も可能。

文部科学省は7月23日、この取組についてWebサイトで公表した。それらを一通り眺めても、『Diverse Link Tokyo Edu (DLTE)』と題した、南多摩の取り組みはかなり具体的。事業協働機関として挙がるのも、カナダのブリティッシュ・コロンビア州などともに、都教育委員会が

魅力的な教材を自ら用意する社会

2019年度 志願状況

募集定員	男女計 120名
受検者数	男子 403名 女子 484名
倍率	5.54倍



フィールドワークを学校の柱に掲げる南多摩には、社会の小玉主幹教諭の指導スタンスはぴったり合致。小学生も教えた経験から、副教材も手作り、簡潔にして解きやすくなる。その編集力の影響は、壁に貼り出された生徒の成果物にも見受けられた



覚書を交わしている北京市や台北市や高雄市といった、アジアの主要地の教委の名が挙がる。都が一貫校を設けてから先の、様々な海外の教育機関との関わりがそこから窺い知れる。

また、都立白鷗高・附属中も共同実施校に選ばれているが、むしろ主導的な立場は南多摩になる。永森比人美校長も「非常にエキサイティング」と、現在の南多摩が置かれる状況を語るに、興奮を隠そうとはしない。インタビューも出だしは、校長のプレゼンを受けるという体を取った。

「指定10校のうち、他校はみんな元SGHなんです。でも、ウチは初立候補。平成29年度から4年間、都の知的探究イノベーター推進校、30年度から2年はBYOD研究指定校、3年は理数リーディング校、また前期から引き続き、31年度から2期目の英語教育推進校の指定を受けてますが、文科省の事業指定はこれまでなかった」
それだけ聞いても、南多摩がいかに波に乗って



1年英語での星主幹教諭の教えぶりはオーソドックスだが、黒板に投じた英英辞典の用い方で、そのプロフェッショナリズムはつかめる。英英辞典を引けば、単語の意味が重要な順でわかる。テキストの意図から外れても、そのほうが重要だし、英文しか載っていないので、長文を読む訓練になるからだ

いるかがわかる。文科省の指定は各都道府県教委と違い公募なので、あくまで計画書と諮問を通じて、計画の実現性と意欲を伝えられるかにかかっている。要は生徒が学校で取り組むチャレンジに、教師たちも管轄官庁相手に臨むのだ。

教員生徒が一丸となり機会をゲット

永森校長は「本校の軸はフィールドワーク活動」だと明言する。総合的な学習の時間に体験型の探究活動を行うのは、すべての中高でも同じ。ただ、南多摩はネーミングからして目指す地平がわかりやすい。1年生では八王子・日野に焦点をあてた「地域調査」、2年生では人文科学分野探訪の「モノ語り」、3年生では自然科学分野探訪の「科学的検証活動」、そして4・5年生で自己課題研究の「ライフワークプロジェクト」にトライする。優れた論文は毎年「南多摩論集」として冊子にまとめ、各種発表会に出場する際は英語版も作るそうだ。「例えば、太鼓の鉢の消耗について研究した生徒は、もともと太鼓部で活躍していた、時に鉢が折れることがあったんですね。そこで研究だし、まとめた論文が日本学生科学賞を受賞しました。この論文が評価され、東大工学部に推薦入学を果たしたんです。また、知床の自然保護について

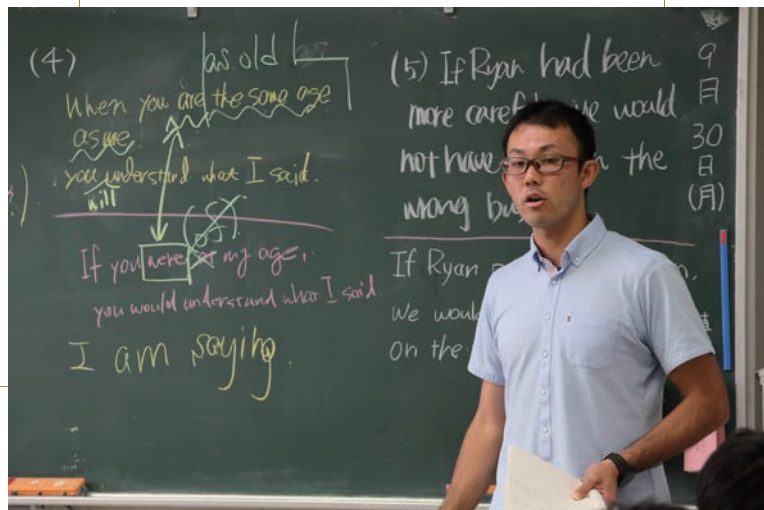
研究した生徒は、もっと外に出て新たなことを知りたいと、アメリカのコロラド州立大学自然生態学部に進学しました」

いわば調べ学習がキャリアに直結するとは…。「隗より始めよ」とはよく言ったものだ。身近な好奇心も伸ばせば、大きな到達点にまで及ぶ。南多摩の所在地、八王子は広大で、歴史や自然も豊かだし、産業も多様。フィールドワークしがいのある土地だ。南多摩は部活動も盛んだが、特にフィルハーモニー部や太鼓部は地域での演奏機会も多い。永森校長は文化祭に参加したPTAが作った、お揃いのTシャツなども見せてくれたが、案外、下町より連帯感強いかもしれない。

「生徒たちはみんな純朴で素直。地域の方たちや、南多摩高校時代の同窓生の方々からもとても可愛がっていただいています。私たちはこの地域に根ざし、中高6年間、個々の生徒のストーリーを踏まえ、教育活動のマネジメントを行っています。生徒たちもですが、先生方も本当に頑張る学校ですよ」

と永森校長。フィールドワークでは2年の「モノ語り」が興味深いが、班ごとに1つのモノに焦点を当てて探究し、これも冊子にまとめる。昨年度の冊子を見ると、全ページカラー印刷でデザインも

ベターチョイスをとことん追求する、債教諭の6年英語。英作文に絶対はないから、より適切な文脈で考えて書くことを促す。サッカー好きが高じ、あえて英語圏以外へとイタリア留学の経験も持つ。今では審判としても知られている



凝っていて感心させられた。テーマもティッシュから刀、テニスボールに琴にベッドなど様々。中で伝票立てに注目し、ファミレス本部にまで取材に行った班の研究が面白かった。そこで彼らは担当者にやがては「精算もペーパーレスになる」可能性を示唆される。そして、AI精算によるキャッシュレス社会の到来を間近に感じるのだ。

教員生徒が一丸となり機会をゲット

そんな南多摩の探究心を垣間見られたのが、小玉容子指導教諭による2年社会だった。ちょうど数週間後に迫った、10月末の奈良研修旅行を控え、斑鳩の里で何を見るべきか、巧みに編集された学習しおりを配布し、それを元に解説をしていた。クイズが随所にちりばめられたお手製の教材も、進行ぶりも徹頭徹尾わかりやすい。聴く者を連れて行く先が即座に見える。

だが、しおりの空欄に書き込まれる答えは、「光背」「螺髻」などとかなり難しい。そこを小玉教諭は、例えば自身の好きな仏像について熱く語って、感情を真つぐ表す。だから、古墳や仏の魅力が知識より先行して伝わってくる。教諭の前任教が武蔵村山市に2校ある、市立小中一貫校（義務教育学校）のうちの1校、村山学園と聞き、「それならばわかる」と私はつい膝を打った。そこで教諭は小学5～6年生にも社会を教えていたのだ。だから、教え方にゆとりを感じる。

私もキャンプなどで、未就学児から高校生くらいまでの集団をいっぺんに相手にしたりもし、一斉に質問攻めに遭ったりもする。そんな場面を乗り切らせてくれるのは、何より語る対象への情熱と、どんな聴き手にも合わせられるユーモアしかない。初等学校で高度な内容を面白おかしく教



4年国語では安部公房の『樺』に取り組む。解釈が広く許される、こんな作品を味わう場合、クラスの成員がそれぞれどう捉えるかを把握するのは重要。そこでBYODを使うのだ

わった経験。それが中等～高等教育への向学心に結びつく。

「小中から中高一貫校に異動となり、当初は戸惑いましたよ。でも、どちらでもただ覚える—という授業はしていない。意識しているのは、できるだけ本物に触れさせること。これはなんだろう—と自ら考えさせたいんです。2年生では古文書の解読を授業に取り入れています。検地帳や宗門人別改帳もやがてすらすら読めるようになるんですよ」

小玉指導教諭は教科書の知識より「文化財や資料が先」とも語る。つまりここでも、百聞は一見に如かず。ネット社会になって、なんでも行った

4年数学は習熟度別に2クラスを3分割し、「複素数と方程式」の二数を解とする二次方程式を解いていた。ここでも「方針1・2、どちらで解くか」といった、選択の中から解法の広がりを見ようとする姿勢が印象的



多様な回答を—と問いかける英数



3年地学ではNHKラジオ第2の気象通報の録音を聞いて、取ったメモを天気図に起こす作業をしていた。西高東低の冬型が緩んだ、小春日和というのが図からわかる

気、見た気にさせられがちだが、だからこそ行動の大切さを説くのだ。こうした実践主義、フィールドワークをかくも重ねてくれると、すべて自分の目と耳で確かめずにはおかない、一介のジャーナリストとしては嬉し涙もこぼれる。

南多摩の先輩にも、大変な発見をした人物がいる。昨夏の東京国立博物館での特別展『縄文—1万年の美の鼓動』は、日本の古代アートの実力をこれでもか！と感じさせてくれた、大変お得な展示だった。その中でも目を引いた「子抱き土偶」を実は、南多摩高校時代の考古学クラブが発掘したのだ。これは乳児をしっかりと抱きかかえる母親の姿が表現された、縄文中期の土偶で、普段は国立歴史民俗博物館に展示されている。南多摩の社会科の授業ではレプリカで紹介するのだが、本物の土偶を見学した生徒たちは一様に感慨深げだったようだ。この展示は構成を変え、パリにも渡ったが、子抱き土偶も展示されたのか、もしそうなら、どんな反響があったかが、とても気になる。

語り合い最適解を探る英作文

英語に力を入れる南多摩だが、1年の授業を追うと、少人数制を担保するため、2クラスを3



充実したPCLL室は部活動でも大活用。本文中のGI部の他、科学部やPC同好会がそれぞれの目的で使っていた

分割していた。習熟度とは関係なく、単純に出席番号で振り分けたのだという。それぞれを横断すると、同じ内容なのに教え方が微妙に違う。星教諭は基本的にプリントで進め、黒板にはプロジェクターで電子版の英英辞典を投影する。

新出の単語だけ並べたプリントもあって、それをまずクラスで読み上げていくのは昔ながら。しかし、即座に辞典の該当箇所を示し、単語の発音も機械がすると、ちょっと未来の教室感が漂う。例えば、動詞のleave（去る/捨てる）の三人称複数現在や名詞形はleavesだが、生徒からは「葉っぱ leafの複数形もleaves」とツッコミが入る。「鋭い！でも、ここではあくまで動詞だからね。その過去形は？ Leavedじゃないよ、leftだね」と星教諭。ちなみに葉の茂ったという意味の形容詞としてはleavedも使うが、高校英語でも出てくるかどうか。

さすがWWL指定を受けるだけあって、英語はお手の物。16年から世界各国の高校生が津波の脅威と対策について学ぶ場として開催されている、『第4回「世界津波の日」高校生サミット』にも、今年9月に5年生3名が参加。海外43ヶ国、国内約70校の高校生と交わり、むしろ使用言語は英語に限定されるが、まったく引けを取らなかったという。

6年ともなれば受験英語かと思っただが、俵元希教諭による、その教え方にはゆとりが感じられた。英作文の問題集の回答を生徒に黒板に書かせる。その正誤を細かく見ていくまでは通常の流れだが、文法的に完全に誤りかどうか、クラスで議

大学合格実績(過去3年間 過年度卒含む)

国公立大学名	2019	2018	2017
東京大学	1	5	3
東京工業大学	2	2	4
一橋大学	3	2	4
東京外国語大学	4	3	3
東京医科歯科大学	2	1	1
お茶の水女子大学	1	1	
千葉大学	2	1	
横浜国立大学	3	4	
筑波大学	2		
北海道大学	2	1	3
北海道大学	1		2
首都大学東京	8	14	10

私立大学名	2019	2018	2017
慶應義塾大学	7	10	14
早稲田大学	17	56	26
上智大学	11	25	9
国際基督教大学	1		
東京理科大学	11	14	13
明治大学	27	32	38
青山学院大学	11	16	19
立教大学	10	27	16
中央大学	29	21	27
法政大学	23	22	21
学習院大学	2	2	1
津田塾大学	1	5	4
日本女子大学	2	6	3

論するスタイルが斬新だ。そこでいろいろ例を出し、あるいは修正を加え、ベターなチョイスへと促す。

「20歳になったら〇〇にしたい」という英文を書く時にwhenを使うかifを使うかで年齢や命に関するその人の考え方が現れる。自分たちにとっては当たり前

の20歳かもしれないけど、5年生存率が20%を切るような地域の子は、これをどう書くだろう。こんなことを考えると言葉というのはおもしろいし、その選択には責任が生じる」

ことにユニークなのは、俵教諭が「作戦相談タイム」と号令すれば、10秒は周りと話し合っているルールだ。その意図を問うと、「うちの生徒は真面目なので、黙って話合ってくれませんか。逆に言うと強制的にその時間

パフォーマンス系部活の実力は都内有数！

さえ作ってあげれば、どんどん意見交換を進めてくれるんです」

と笑って答えた。追って調べると、教諭はサッカーの1級審判員資格の持ち主。JFL主審担当となり、3年目の15年度には優秀レフェリー賞も受賞している。だから公平に裁け、巧みに時間も捌けるのである。

語り合い最適解を探る英作文

最後に模範解答を配布し、この次の問題は学校を挙げて使用する「Classi」で流す」と言って、授業を終えた俵教諭。Classiとはベネッセとソフトバンクの合弁企業名でもあるが、学校で使うタブレット端末に宿題や小テストなどを配信するクラウドサービスをも指す。本連載の取材を通じ、他にも数校利用状況を現認しているが、南多摩はかなり円滑に活用できているという印象を持った。

4年現代国語でもClassi併用で進めていたので、かなり高度な内容をスピーディに進められていた。課題である教科書中の安部公房の小説『棒』は、カフカの『虫』も真っ青の、生徒も教師も弱らせる問題児なので、この場で深追いはない。ともかく小野寺

南多摩フィルハーモニー部もご自慢の部活。毎年3月末の八王子いちょうホールでの定期演奏会では、全5学年総勢約100名のぶ厚いサウンドを聴かせる。日本学校合奏コンクール全国大会に5年連続出場





公立の共学校では珍しい薙刀部がある。強豪の富士高校の顧問だった徳地昌代指導教諭が南多摩に転任し、創部を働きかけた。8月の全日本少年少女武道錬成大会中学生の部では、ペア演技で敢闘賞（3位）に入った



部長の神保まなさんは大河ドラマの「八重の桜」の戦闘シーンに心打たれ、「薙刀部に入りたくて」南多摩を受験。「薙刀は奥が深く正解がわからない。どうやれば勝てるんだろう」と自問自答の日々という

ここでたまたま学校臨床実習生として授業見学中の、島田真衣さんが助け舟を出してくれた。島田さんは早大教職大学院修士課程にあり、南多摩には昨年も来校。9月から秋期のみ、自身は4年生物基礎を教えるが、BYOD（個人デバイス利用）学習の状況を確認したく、この授業の見学を申し出たのだ。私も iPhone の AirDrop でシェアすると、あれよあれよと生徒の書き込みが目飛び込んでくる。難解な小説をなるべく多層的に読むためにも、みんなの解釈が一気につかめる、このツールとやり方は便利に思えた。

問題はそこからどう自分の読みを深めるかが、南多摩の生徒はそのためのセンスを放課後の活動でこそ磨けている。そう思えたのが、グローバル問題（GI）研究会制作のCMを見た際だ。まだ非公開だが、いわゆる粗編は済んでおり、なかなか凝った画が撮れていた。

太鼓部ははじめ部活は出色の盛況

GI研はパナソニックが支援するキッズ・ウィットネス・ニュース（KWN）の、Sharing The Dream 2020 (SD2020) に参加。SD2020とは、1校が1国を応援するスタイルで、来年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた映像制作を担うプログラムだ。

編集には映画や放送現場でおなじみのソフト、プレミアプロを使用。担当する3年の南出耕志君は科学部との兼任だが、これまではフリーソフトを趣味でいじった程度という。

「学校がアドビを全部入れてくれているので、超助かりますね。南多摩はレバノンの走り幅跳びの選手、クリステル・サネさんを応援することになり、7月末に来校されたんで撮影もしました。ワークショップもあって、簡単なアラビア語を教えてもらい、日本の伝統文化を紹介する交流会をし、折り紙を折って、お土産にあげました」

南多摩の活発な対外活動を知っていた、パナソニック側から声がかかったといい、編集が済んだ動画は来春にはKWNのサイトより世界配信される。オリンピック開催に向け、こうした学校ぐるみの取り組みに挑むのも、WWL 拠点校ならではの。その大きな祭が終わっても、確かな継承物もたらされるだろう。

伝統文化も南多摩のコンセプトワードで、11年創部の太鼓部はその象徴。八丈島に10年以上

適性検査の傾向と対策

検査Iは独自問題、検査IIは共通問題。それぞれ100点満点だが、後者は200点換算し、合計300点を適性検査点として800点満点にさらに換算。+報告書（満点200点換算）=1000点。検査Iは文章を読んで問題を2問解き、問題3として内容に関わる作文を書く形式。17年度から一つの文章を読んで答える形式に戻る。検査IIについては大問3つの構成で、1は会話文中の様々な条件を読み取り、しおりや模様を作成する状況を想定しつつ解く。2は出国者と入国者数のグラフをベースとする地域問題。3は紙の性質について実験結果などから読み取る理系問題。

通用門脇にも設置される創立者、横川様子の銅像。東京女子師範を出て同附属幼稚園で教えていた彼女が、私財を投げ打って建てた八王子女学校が、長じて府立第4高女へと引き継がれた



調べると、首都圏だけでも和太鼓部は62校にある。しかも、38校と圧倒的に東京に多い。伝統回帰は都会から進むということだろう。その頼もしい担い手たちがここにいる

赴任していた顧問の今川健司主幹教諭が、島の人たちから教わった太鼓を生徒らに教えることから始まった部活だ。部員数は、前後期合わせて約80人で、地元の祭や老人ホーム、保育園などを中心に演奏活動を行っている。

八丈太鼓は小倉祇園太鼓などと同じで、全国でも珍しい両面打ちをする。片面では下拍子と呼ぶベースリズムを刻み、もう片面ではそれに合わせ即興で鉢を捌き、上拍子と呼ぶ。その呼吸に特色がある。つまりいくらでも創意工夫が可能で、探究的な演奏なのだ。八丈にも都立八丈高校があるが、「郷土芸術」として教えながらも、人口流出から生徒も減少し、部活動はないようだ。八丈で失われゆく伝統を八王子が継承する。これも世の流れなのだろう。

さる8月には後期生メンバーが国立劇場大劇場で行われた、「全国高等学校総合文化祭 優秀校東京公演」で演奏を披露。2019 さが総文（全国高等学校総合文化祭）郷土芸能部門で最優秀賞の文部科学大臣賞を受賞した結果だ。本番では数名の女子部員が八丈固有の草木染めの絹織物、黄八丈を優美に着こなす。だが、練習風景を見守ると、当然ながらみんな体育着姿。近所迷惑とならぬよう、大中小の太鼓には毛布でしっかり防音加工がしてある。そして、1/3のメンバーは校舎周りを走っている。

ランニングから戻った前期部長の3年、三輪

蒼太君も「内容的には運動部。思っていたより激しい」と、額に滴る汗を拭う。課題は多く、勉強はさせられる。ただ、厳しいが楽しい。そんな南多摩らしさが、この部活からは滲み出ているようだった。



南多摩の図書室は読書習慣を促す展示、学習と連繋するレファレンスのあり方等々、全国の模範となろう。公立でも専任の司書を置かない学校が増える中、杉山和芳司書の努力がそこかしこに見受けられる

広々とした廊下の片隅に自習用の机が置かれ、「人気のない教室よりもむしろ集中できる」と、仲よく復習に励む女子生徒たち



意欲溢れる司書の心配りが光る図書室